1．科目名（単位数）	視覚障害者、聴覚障害者の心理・生理・病理 /視聴覚障害者の心理・生理・病理　（2 単位）	3．科目番号	SSMP3347 SSMP3447 SNMP3447 SCMP3447 SBMP3447
2．授業担当教員	上田　征三		
4．授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。	5．開講学期	春期
6．履修条件・他科目との関係	「障害児教育論」を履修済みであることが望ましい。		
7．講義概要	視覚障害は「盲」と「弱視」に、聴覚障害は聴力の損失によって「軽度、中等度、高度、重度」に大別されるが、その心理・病理・生理について理解する。視覚障害の発達に関しては、体格・平衡感覚・運動能力の遅れや、知的・認知発達が困難になる反面、聴覚や触覚の能力が高くなること、言語発達の遅れについても理解する。聴覚障害は、特に言語能力が、聴力の程度、知能、聴覚活用の程度、失聴の時期、家庭環境や早期療育によって大きく差が出てくることを学ぶ。また、関連分野として言語障害に関する心理・生理・病理についても学ぶ。以上のことから、視覚障害・聴覚障害、そして、言語障害について学ぶことが、ひとの言語獲得の過程を明らかにし、そのことが教育の原点に関わることを理解する。		
8．学習目標	以下に関して理解を深め学習し、説明することができる。 1．視覚障害の生理・病理・心理について 2．聴覚障害の生理・病理・心理について 3．視覚障害がある子どもの発達特性について 4．聴覚障害がある子どもの発達特性について 5．視覚障害及び聴覚障害がある子どもの適切な教育について		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	1．授業内容に沿った小テストを5回実施（到達度評価）。 2．到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート（手書き）を課す。 3．教科書、小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備。 4．予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。		
10．教科書・参考書・教材	【教科書】 柳本雄次・河合康編『特別支援教育』（第 3 版）福村出版、2019。 【参考書】 石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育』（第 4 版）ミネルヴァ書房、2020。 東京福祉大学編　『教職科目要説（中等教育編）』ミネルヴァ書房、2015。		
11．成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1．視聴覚障害者の病理･心理・発達特性について、基礎的知識を身に付けたか。 2．視聴覚障害者の適切な教育について基礎的知識を身に付けたか。 3．主体的な発言・取組をし、協調性を発揮して授業に参加できたか。 ○評定の方法 以下を総合的に検討し、判断する。 1　授業への積極的参加　　総合点の５０％ 2　レポート・期末試験　　総合点の５０％ ＊なお、本学規定の「3／4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。		
12．受講生へのメッセージ	1．授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2．教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3．マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。		
13．オフィスアワー	授業以外の時間（予約をお願いすることもある）		

14．授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	視覚障害と聴覚障害及び関連する障害について −視覚障害、聴覚障害及び言語障害等の分類と発生状況−	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第２回	視覚障害の生理・病理について（1） −目の構造と視覚障害の原因−	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第３回	視覚障害の生理・病理について（2） −視覚障害の分類と発生状況−	事前学習	教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第４回	視覚障害がある子どもの発達特性と心理について（1） 運動、知的・認知、言語	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第５回	視覚障害がある子どもの発達特性と心理について（2） −心理・社会的発達、家庭や医療等の関係機関との連携−	事前学習	教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。小テスト①「視覚障

			害」の準備をする。
第６回	聴覚障害の生理・病理について（１） -耳の構造と聴覚障害の原因-	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	小テスト①の復習をし、重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第７回	聴覚障害の生理・病理について（２） -聴覚障害の分類と発生状況-	事前学習	教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第８回	聴覚障害がある子どもの発達特性と心理について（１） -運動、知的・認知、言語-	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第９回	聴覚障害がある子どもの発達特性と心理について（２） -心理・社会的発達、家庭や医療等の関係機関との連携-	事前学習	教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。小テスト②「聴覚障害」の準備をする。
第１０回	言語障害等の生理・病理について -発声発語器官の構造と言語障害の原因、分類と発生状況-	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」及び、教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	小テスト②の復習をし、重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第１１回	言語障害等がある子どもの発達特性と心理について -運動、知的・認知、言語、心理、社会的発達-	事前学習	既習の「よくわかる障害児教育」及び、教科書で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。小テスト③「言語障害」の準備をする。
第１２回	視覚障害と聴覚障害及び関連する障害がある子どもの適切な療育について（１） -盲児、弱視児の指導と一般的配慮、事例-	事前学習	既習の「特別支援教育-第３版-」及び、教科書、配付資料で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	小テスト③の復習をし、重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
第１３回	視覚障害及び聴覚障害及び関連する障害がある子どもの適切な療育について（２） -ろう児、難聴児、言語障害児の指導と一般的配慮、事例-	事前学習	既習の「特別支援教育-第３版-」及び、教科書、配付資料で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。小テスト④「まとめ」の準備をする。
第１４回	視覚障害及び聴覚障害及び関連する障害がある子どもの「言語」についてーコミュニケーション言語と文字言語の獲得（１） -「盲ろう」及び重度・重複障害について-	事前学習	既習の「特別支援教育-第３版-」及び、教科書、配付資料で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	小テスト④の復習をし、重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。小テスト⑤「まとめ」の準備をする。
第１５回	視覚障害及び聴覚障害及び関連する障害がある子どもの「言語」についてーコミュニケーション言語と文字言語の獲得（２） -視覚障害における点字、聴覚障害における手話をはじめとするトータルコミュニケーション、ICTなど- ※1回から14回目までに教材用ビデオを3回使用予定	事前学習	既習の「特別支援教育-第３版-」及び、教科書、配付資料で該当箇所を確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	小テスト⑤の復習をし、重要な専門用語などに関してノートにまとめ簡単に説明ができるようにする。
期末試験			